

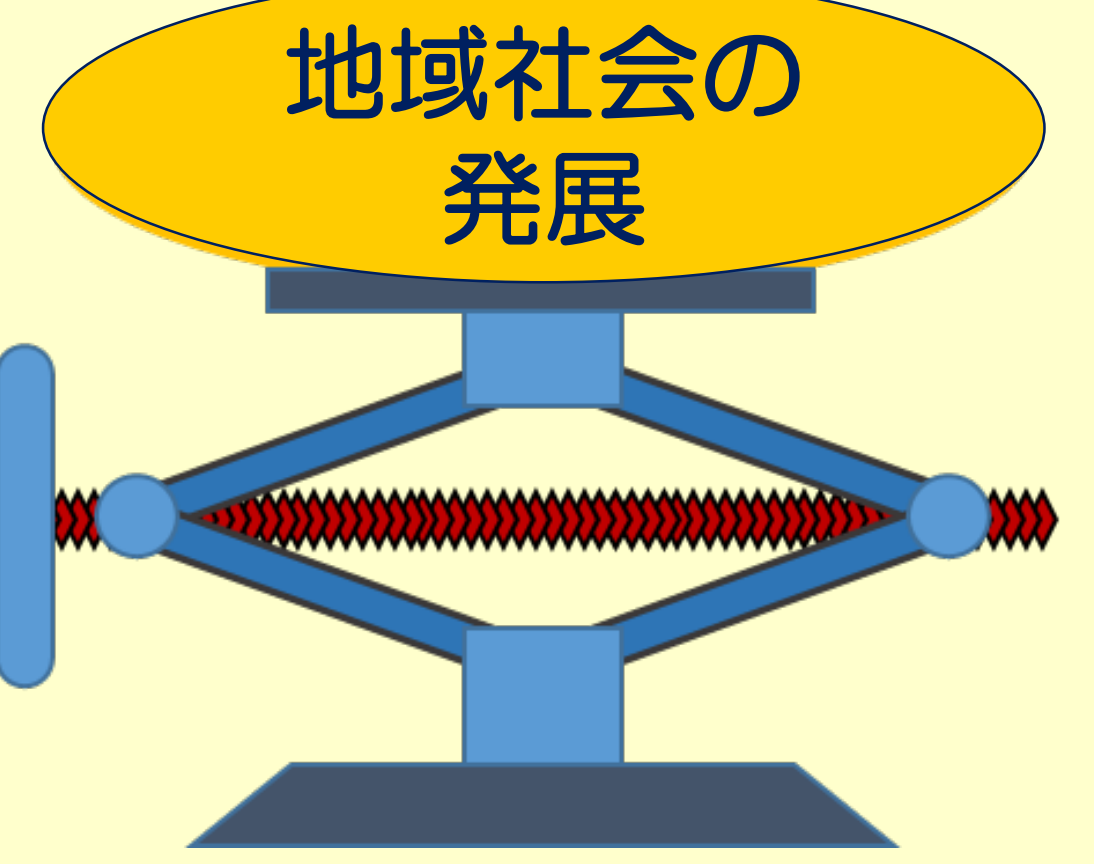
設備サポートセンター整備事業概要 (H29年度～H31年度)

宮崎大学設備サポートセンター整備事業

【目的】全学的な設備マネジメント機能を強化することにより、地域ニーズに応える研究推進及び人材育成ならびに産学官にわたる設備サポートを実施し、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

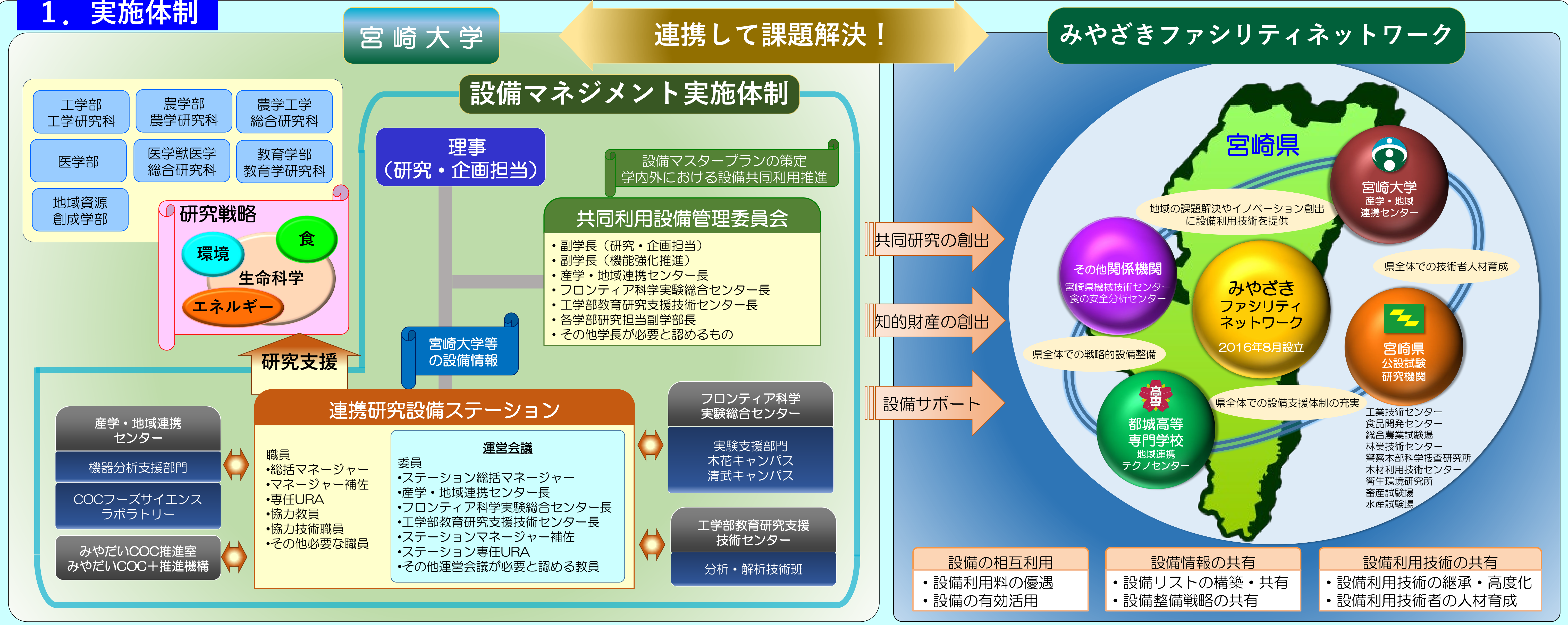
- 設備マネジメント機能の強化
- ・学内共同利用設備の一元管理
 - ・マネジメント・技術スタッフの配置・育成
 - ・ガイドラインの策定
 - ・利用環境の整備
- 学外機関とのサポート体制構築
設備共同利用推進

地域ニーズに応える研究推進
地域ニーズに応える人材育成
産学官にわたる設備サポート



URL: <http://miyazaki-u.ac.jp/crcweb/fsc-uom>

1. 実施体制



宮崎大学の実施体制

理事(研究・企画担当)の下、連携研究設備ステーションを中心に設備サポートセンター整備事業を推進し、全学における設備の共同利用促進、効果的かつ効率的な設備の配置を図るために、「学内共同利用設備の一元管理」を進める。

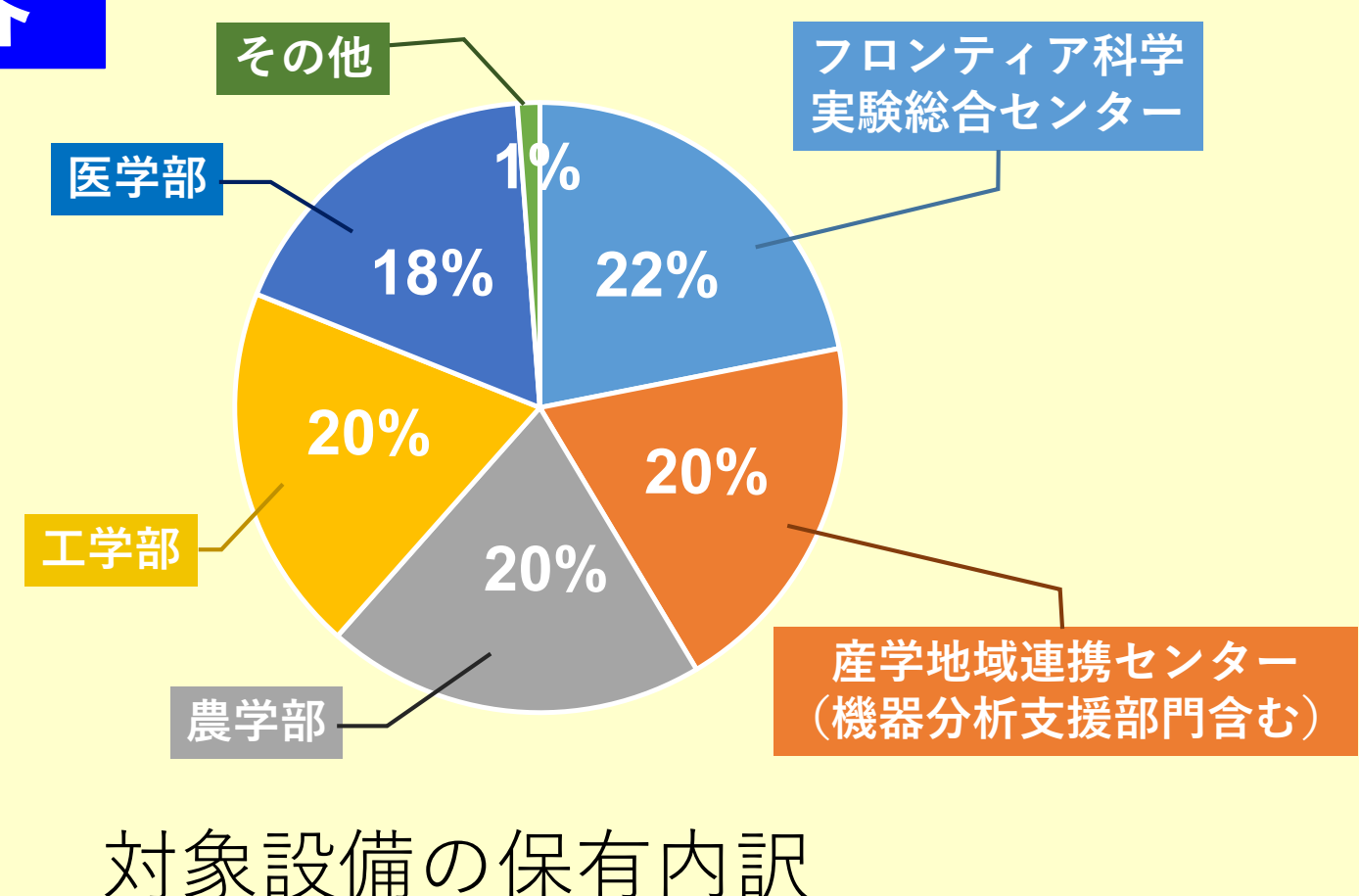
みやざき Fnet

宮崎県内の高等教育機関、地方公共団体、公設試験研究機関及び関連機関が連携し、設備の共同利用や情報共有による研究基盤強化並びに設備利用技術の継承・高度化に向けた人材育成に取り組む。

2. 今までの活動内容

共同利用設備の調査

宮崎大学資産一覧表
選別
研究教育設備
分類
500万円以上の設備
調査対象: 338件

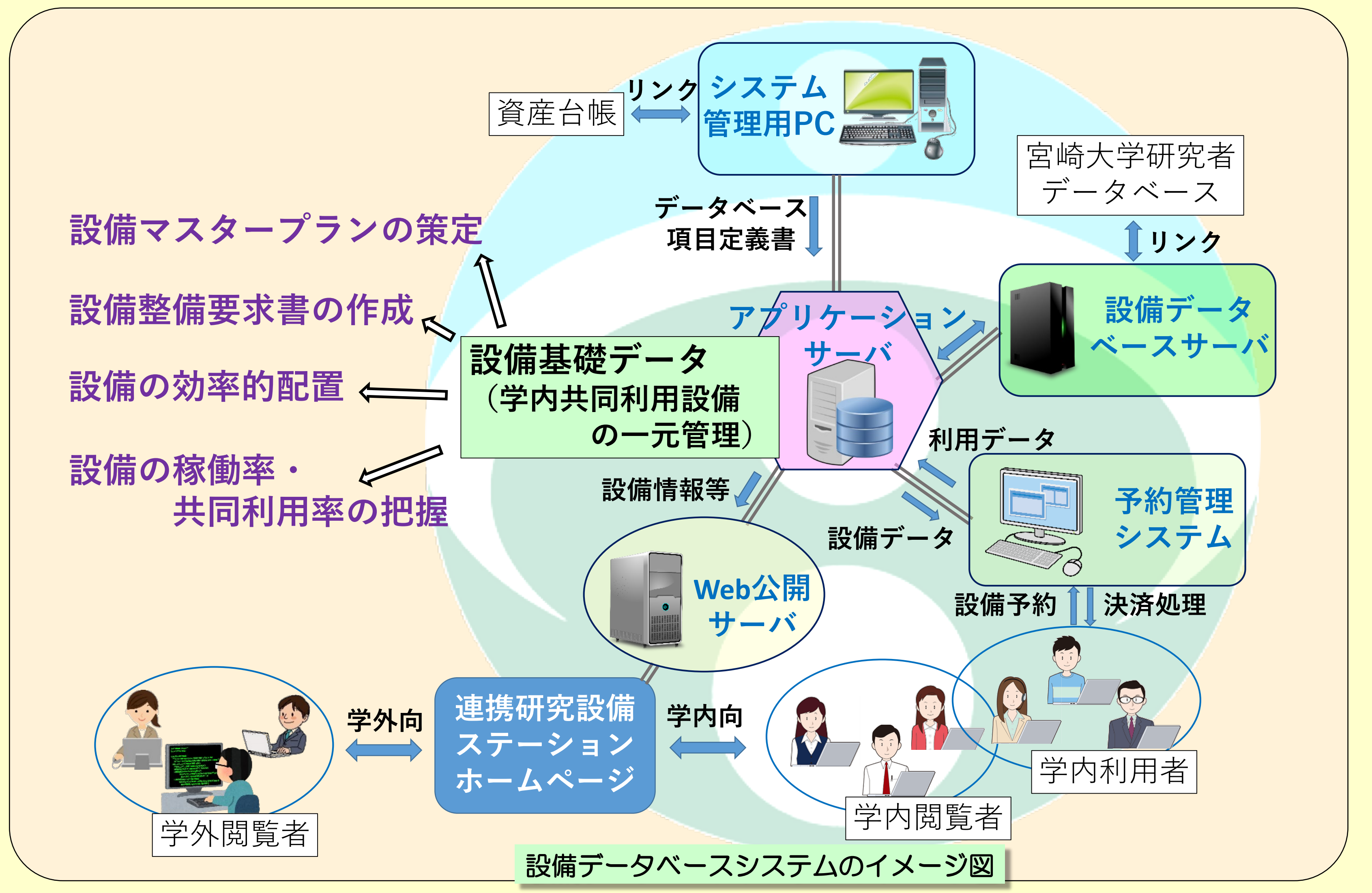


調査

- ・共同利用可否
- ・設備公開可否
- ・共同利用実績

設備データベースシステムの構築 (平成30年夏、稼働予定)

- ・設備データベース管理システム
 - ・設備情報閲覧検索システム
 - ・設備予約管理システム
- 共同利用設備の一元管理



3. 取り組んでいる支援の実態 (人材育成含む)

- 技術研修経費補助事業
 - ・装置メーカー等が開催する技術研修等への参加経費を補助
 - ・実績: 7件、7名実施
- 地域志向教育研究に資する設備利用技術支援と教育
 - ① 地域の学童向けに、生物試料の顕微鏡観察実演
 - ② COC+事業向けに、機器分析の紹介
- 県内に雇用されている設備利用技術者の相互研修受入
 - ・みやざきFnetとの連携による技術者教育
 - ・随時実施中
- 設備リユースおよび共同利用の推進に係る費用支援事業
 - ・部局等で不要あるいは故障等で不動となった共同利用設備のリユースに必要な費用を支援
 - ・設備の共同利用化のために必要となる費用を支援
 - ・実績: 3件

4. 期待される効果

実験・研究支援の効率化

- ・宮崎県独自の共同研究、知的財産権数の増加
- ・留学生増加に伴う英語環境の整備
- ・海外協定校との国際共同研究の推進
- ・地域で培った課題解決スキルの国際展開

COC事業 (地域志向型教育)

COC+事業 (地方創生推進)

- ・地域志向型研究に対する設備利用者支援
- ・産業人材教育と県内就職支援

社会人まなびなおし

- ・県内に雇用されている技術スタッフの研修相互受け入れ
- ・設備利用に関する公開講座